



## 福岡のダムを訪ねる — 南畑ダム

劇的な政権交代に伴い、日本のダム事情も大きく変わろうとしています。川辺川ダム、八ツ場ダムの建設とともに、荒瀬ダム（熊本県）など既存ダムの存廃問題も依然結論がでていません。わたしたちは自分の身近なダムについてはどう考えていけばいいのでしょうか。そこで、今回は地元のダムを見直すために、南畑ダムを訪ねました。（楠原圭子/FNA 事務局）

### 危機一髪

2009年7月24日から26日にかけて福岡地方は前代未聞の集中豪雨に見舞われました。26日正午、南畑ダムの貯水量は140%に達しダムの管理者である福岡県は決壊を回避するため緊急放流を決断、福岡市に通知しましたが、このとき下流域は雨のため危険水位を越えており氾濫のおそれがあるため福岡市は放流に反対、しかしこのままではダムが決壊・・・。放流予定時間の10数分前、ダム周辺の雨脚が弱まり水位が低下、放流せずに事なきを得ました<sup>1</sup>。詳細を報道したのは西日本新聞だけでしたが、海外の報道で目にするこのような危険は福岡市民の身近にもあったのです。

### 南畑ダム概要

南畑ダムは福岡市都心部を流れる那珂川上流、福岡県那珂川町にあります。堤高 63.5m、総貯水量 600 万立方m、中規模ダムです。1965年（昭和 40 年）竣工。福岡市に関わる 8 ダムのうち、室見川上流の曲淵ダム（完成 1923 年）に次ぐ古いダムです。管理者は福岡県、多目的ダムですがさらに上流の脊振ダムと共に福岡市の水がめとして大きな役割を果たしています。

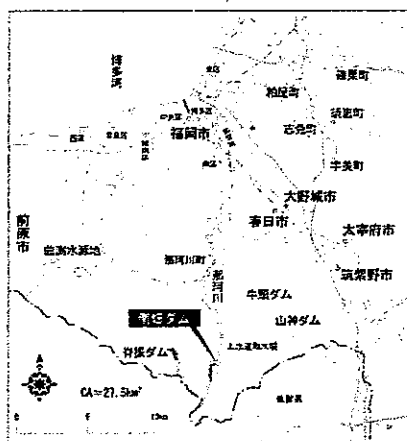
### 現在の南畑ダム

7 月豪雨による土砂崩れのため、那珂川町からダムへ向かう国道 385 号線は通行止めにな

っていました。解除されたのは 9 月 11 日夜、わたしがダムを訪れたのはその翌日 9 月 12 日。通行止めが解除になったとはいえ、土砂崩れ現場は片側交互通行、当日は快晴でしたが道路上至る所に土砂が残っており完全復旧にはかなり時間がかかりそうでした。

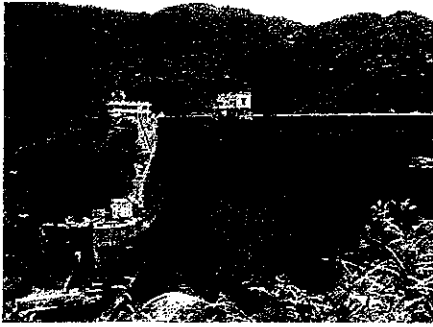
ダム下流では家族連れが岸辺で水遊び・バーベキューを楽しみ、広がる田では早くも稲刈りが行われていました。ほんの 1 ヶ月半ほど前、大惨事が目前に迫っていたとは思えない、おだやかな風景でした。

今回のような豪雨は決してよくあることではないのですが、ダムは永久に稼働するものではなくいずれは耐用年数が過ぎ、またダム湖に土砂が堆積してその役割を終える時がきます。そのとき、どうするのか？いつか、ではなく、今、考えておかなければいけないことだと思います。

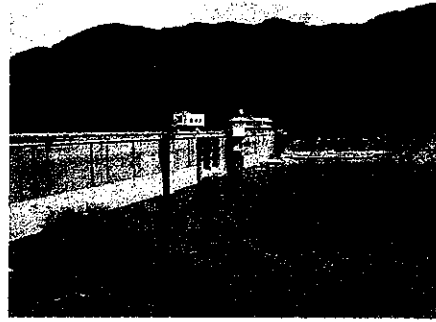


福岡県ウェブサイトより

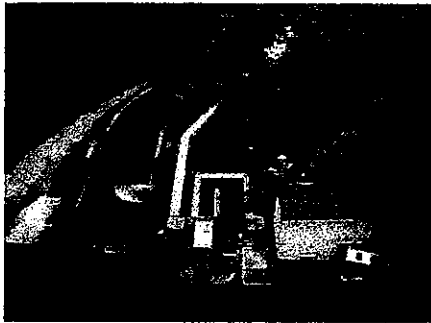
<sup>1</sup> これは「平成 21 年 7 月中国・九州北部豪雨」としてウィキペディアにも掲載されている



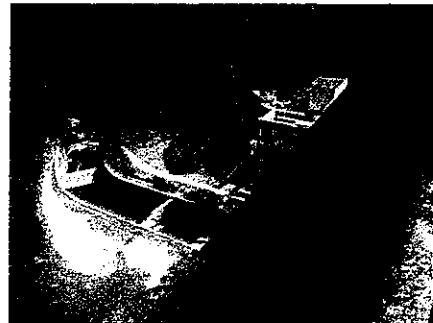
南畑ダム堤



ダム湖側：水が達したあとが残る



堤上より放流口を見る



放流口側



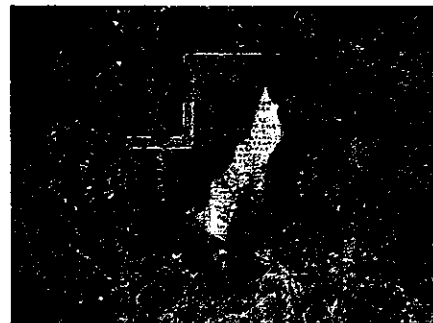
ダム湖



湖面の波は水質改善の曝気（送風し湖内の水を循環する）のため



放流口側より



国道沿の碑 草が茂り近づけなかった



## 講演記 「アジアの開発問題に関する NGO による政策提言活動の 取り組み—FNA の活動を通じて」

2008 年 11 月 28 日 於九州国際大学

渡邊智明／FNA 事務局

昨年 11 月、FUNN (NGO 福岡ネットワーク) を介し九州国際大学から政策提言型 NGO というテーマで話して欲しいとの依頼を受け、FNA を代表して、事務局の渡邊がお話させて頂きました。この講演は、九州国際大学で開講されている「国際協力実践論Ⅱ」という授業の一貫で、NGO など実際の国際協力活動に関わっている方々をゲストに招いて話を聴く、という趣旨のものです。以下では、この講演について簡単に紹介したいと思います。

講演に割り当てられたのは1コマ (90分) で、政策提言活動やFNAを知ってもらうことを優先と考え講義形式としました。講演は、①政策提言活動NGOの概略、②ADB (アジア開発銀行) とFNAの活動、③政策提言活動NGOの意義と課題、という3つの小さなテーマで行いました。

最初に、NGO は、物資支援に代表される現地滞在型支援を行う「現地型」と、開発の問題などの現状を知り、考え、伝える「政策提言型 (Advocacy)」の 2 つに分けることができるとした上で、政策提言型に該当する FNA としては、学習会などを通じた他の NGO とのネットワークの形成、財務省など関係機関の開催する定期協議への参加、ADB 総会など国際会議への参加といった活動例に触れました。

次に、ADB の概要について、資金供与の規模などを説明しながら、融資が問題となっている事例について寺嶋女史が提供してくれたクロンダンの写真など使って説明しました。また、FNA の活動の説明では、ADB 京都総会に参加した際の写真などを用いました。

最後に、FNA の経験から政策提言活動について総括しました。まず、このような政策提言活動の目的は「説明責任 (アカウンタビリティ)」を求めることではないかと指摘しました。

すなわち、FNA との関連で言えば、「日本の ADB への出資=税金」であるのに、誰が

使い道を決めているのか不透明であり、国会でもほとんど取り上げられない「密室」での議論をオープンにすることの重要性です。

次に、政策提言は役立っているのかというよく寄せられる問いを踏まえた上で、「長期的」「継続的」な取り組みを通して、開発を取り巻く仕組みを変えていくことの重要性を述べました。

そして、最後に、「現場型」と「政策提言型」は協働関係にあってそれぞれだけでは完結しない、そして 1 つの NGO ができることには限界があり、相互に連携していく必要性を指摘して、講演を締めくくりました。

16 時をまわった 5 時限目からスタートした講演には、30 人前後の履修学生の姿が見えました。講演後、質疑応答に時間を設けましたが、ADB になじみがなく、私の話がまとまりのないものということもあって、タイの運動が成功した要因について 1 名の学生から質問があったくらいでした。しかし、その後、藤井さんに疑問を投げかけて頂く形で私とディスカッションを行ったことで、学生の理解を幾分か深めることができたのではないかと思います。

最後になりましたが、藤井さんおよび九州国際大学および紹介の労をとって頂いた FUNN の関係者に対して、この場を借りて感謝の意を表したいと思います。

# FNA 2008年度活動報告・2009年度活動計画

FNAの昨年度の活動報告と、今年度の活動計画の概要をご報告します。

## 2008年度の主な活動

- 6月 アジアの開発を学ぶ連続講座・1～ダムや道路は貧困を解決するか? 「国境を越える環境被害:メコン河ダム開発、魚、人びとの暮らし」講師・木口由香さん(メコン・ウォッチ)  
アジアの開発を学ぶ連続講座・2～ダムや道路は貧困を解決するか? 「道路ができれば高利貸しが儲かる:カンボジア国道一号線の住民移転問題」講師・土井利幸さん  
NGO・財務省定期協議 出席(寺嶋)
- 11月 メコン国際会議(バンコク)参加(土井、寺嶋)  
FUNN 講師派遣事業(九州国際大学・講師 渡邊)
- 12月 メコン会議報告会 講師・寺嶋悠さん
- 09年3月 メコンセミナー「メコン圏のエネルギー開発と日本の援助」講師:カール・ミドルトンさん(メコン・ウォッチ、FNA共催)

## イベント出展

- 10月 地球市民どんたく
- 10月 ハートフルフェスタ
- 11月 アミカスフェスタ
- 11月 あずばるフォーラム

## 2009年度活動計画

英文資料翻訳:NGOフォーラム刊「Toward the Cliff」の翻訳

翻訳を分担するボランティアさんを募り、小冊子として発行する

## イベントへの出展

学習会・講演会の開催

ホームページの改訂

## 2009年度役員・スタッフ紹介

- 代表 吾郷健二
- 副代表 土井利幸
- 事務局 楠原圭子、渡邊智明
- 監事 原田君子
- 運営委員 寺嶋 悠、土肥勲嗣、  
鈴木 恒



アジアの開発を学ぶ連続講座



地球市民どんたく 2008

## はつこい はつこい はつこい **メコンセミナー報告** はつこい はつこい はつこい

カール・ミドルトン氏講演会 2009年3月2日 18:30～21:00

メコン・ウォッチとFNA共催という形で、カール・ミドルトン氏の講演会が行われました。

ミドルトン氏は、大学院で環境化学を専門として博士号を取得され、国際環境NGOである「インターナショナル・リバーズ」International Riversのスタッフとして、メコン川圏のダム開発の行方を注視し、問題提起を行ってこられました。

さて、講演会では、スライドを用いてメコン川流域、ラオスの人々の生活を紹介するとともに、ADBの融資によって建設されたダムの現状についてお話しいただきました。特に問題とされたのは、ADBの掲げる環境社会基準をラオス政府は遵守しておらず、メコン川において漁業を行うことで生計を立てている地域住民に対して大きな影響が及んでおり、今後の計画の進展にともない、さらに深刻な環境社会的影響が懸念されるということです。また、ADBは、検討中の送電線が経由する水力発電所事業などに対して、セーフガード政策の遵守を義務付けるような積極的な対応はとっておらず、ラオスの政治的状況と相まって開発に歯止めがかかりにくい現状にあるようです。

メコン川中流域、ラオスなどの現地の様子は日本にいる我々にはなかなか耳にすることがありませんが、今回の講演を通じて、ADBが改善すべき大規模開発に伴う問題のありようを再認識することができたと思います。



カール・ミドルトン氏

(渡邊智明/FNA事務局)

## はつこい はつこい はつこい **書籍紹介** はつこい はつこい はつこい

近藤ゆり子『徳山ダム導水路はいらない!』風媒社2009年、952円+税

著者近藤ゆり子さんは、岐阜県大垣市に暮らし、「徳山ダム建設中止を求める会」の事務局長である。本書において、徳山ダム導水路（正式名称「木曾川水系連絡導水路」）は、長良川河口堰、徳山ダムに続く木曾川水系の「ダム公共事業ダンゴ三兄弟の仕上げの事業」であることが、わかりやすくかつ詳細に説明されている。

『国が川を壊す理由』の著者福岡賢正さんが川辺川ダムの取材を始めたきっかけは、いたってシンプルだった。ダムの受益地とされる現地の人々の話を聞いて回るとみんな「いらん」と声をそろえていったのだという。その後、「川辺川ダムはいらない」という声は、多くの人々が共有するになり、今では政権を担う政党が中止すべき大型公共事業として選挙で掲げるようになった。

長良川河口堰及び徳山ダムはすでに建設が完了している。最後の徳山ダム導水路も「中止することが非現実的である」という理由で莫大な予算が投入され、事業が進められている。河村たかし名古屋市長は、同事業から撤退する旨をすでに表明している。今回の選挙で、無駄な事業を徹底的に見直すと宣言した民主党が政権の座を得ることができた。しかし、本当に政治（公共事業）は変わるのだろうか。熊本県の川辺川ダム、八ツ場ダムと同様に、徳山ダム導水路がどのように見直されるのか。私たちは、選挙の結果だけでなく、その後の政権の動向に注目する必要があるだろう。

(土肥勲嗣/FNA運営委員)

イベントのご案内

下記のイベントを共催します。みなさまのご参加と、広報へのご協力をお願いします。

「人身売買」と「子ども買春」問題を考えるトークと映画上映  
 一闇の子どもたちを抱く社会へのメッセージ

日時：2009年11月14日（土）

10：00～ 1回目上映

12：40～ 椎井友紀子さんと斉藤百合子さんによるトークセッション

14：30～ 2回目上映

会場：福岡市男女共同参画推進センター・アミカス（福岡市南区高宮）4階ホール

料金：前売り800円、当日1000円（映画・トークセッション込み）

話者紹介

斉藤百合子さん：恵泉女学園大学 移住問題専門家  
 椎井友紀子さん：映画プロデューサー

主催：NPO法人 アジア女性センター（AWC）

（福岡市博多区博多駅東3-9-3-403 電話092-513-7333）

共催：福岡NGOネットワーク、くるんて〜ぶの会、FNA


（2009年度アミカス市民グループ活動支援事業）

「闇の子供たち」解説

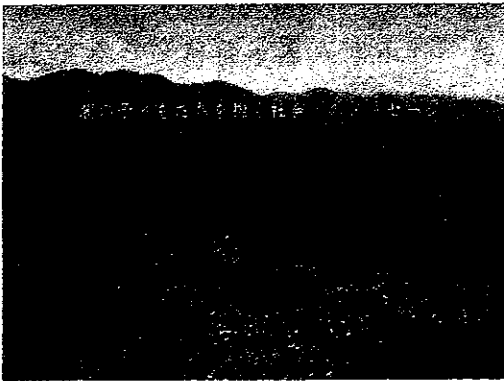
監督・脚本：阪本順治（2008年）、原作：  
 梁石日、出演：江口洋介、宮崎あおい、妻  
 夫木聡、プラパドン・スワンパン、プライ  
 マー・ラッチャタ、佐藤浩市

子どもたちが欲望まみれの大人のエゴに  
 蹂躪されていた。貧しい農村から売られ、  
 家族と離ればなれになり売春宿に監禁され  
 ている子どもたちは、ペドファイル（子  
 どもへの性的加害者）たちに虐待を受け、心  
 身ともに耐え難い傷を負うだけでなくエイ  
 ズにかかればゴミ同然に捨てられ、たとえ  
 健康でいられても生きてままだ臓器を抜き取  
 られていた。

タイ在住の新聞記者・南部（江口洋介）  
 は、NGOの女性職員（宮崎あおい）とフ  
 リーカメラマンの青年（妻夫木聡）の協力  
 を得てその事実を暴こうと行動を開始する。  
 しかし、現実を暴き、虐げられる“闇の子  
 どもたち”を救おうともがくほどに残酷な  
 現実が立ちはだかるのだった……。


 2009年11月14日 15:00-17:00  
 アミカス市民グループ活動支援事業

**「人身売買」と「子ども買春」を考えるトークと映画上映**



**2009年11月14日（土）**  
 10:00(開場は9:45)～ 映画「闇の子供たち」1回目上映  
 12:40～ 椎井友紀子プロデューサーと  
 斉藤百合子さんによるトークセッション  
 14:30～ 映画「闇の子供たち」2回目上映

**会場：福岡市男女共同参画推進センター**  
**アミカス 4Fホール**（定員：毎回300名先着順）  
福岡市南区高宮3-3-1 西鉄大牟田線高宮駅前 電話092-526-3750

**主催・問い合わせ先：アジア女性センター 電話 092-513-7333**  
共催：福岡市男女共同参画推進センター、くるんて〜ぶの会、アジア女性センター福岡フォーラム事務局  
 後援：福岡NGOネットワーク、福岡市、くるんて〜ぶの会、アジア女性センター福岡フォーラム事務局、福岡市男女共同参画推進センター、福岡市男女共同参画推進センター、福岡市男女共同参画推進センター、福岡市男女共同参画推進センター、福岡市男女共同参画推進センター



2007年アジア開発銀行京都総会の際に行われた市民フォーラムシンポジウムについて、「ADB京都総会に向けたNGOネットワーク」製作の報告書と別に、FNA独自で報告書を作成しました。みなさまにご覧いただく機会がありませんでしたので、遅ればせながらここに掲載します。

ツナミ被害の後にADB被害がやってきた～国際援助機関が被災者の生活に与えた影響～  
主催団体：ADB 福岡 NGO フォーラム (FNA)、環境ディフェンス (米国)、グリーンムーブメント・スリランカ、ジュビリーサウス、都市研究センター (インド)、NADI (インドネシア)  
日時：5月6日16:00-18:30 参加者数：55名

#### 発言内容

### 1、被災国への援助資金の流れ

ティティ・ソエントロさん (NADI)

ツナミ被害をきっかけに ADB などの国際機関が被災国の支援に乗りだした。多額の援助資金が動き、復興開発が進められ、中には環境破壊・住民立ち退き・汚職を引き起こすものもあった。ツナミなど大規模自然災害に対する緊急援助のシステムが十分に確立していれば、このようなことは防げただろう。

### 2、ADBの「援助」

土井利幸さん (FNA)

ADBは「2006年12月までに約1,000億円のツナミ援助を承認した」と言うが、これまでにADBのプロジェクトが引き起こしてきた環境被害や住民立ち退きの実態を考えると、多額の援助はかえって懸念につながる。「援助」と言うが貸付も多い。ADBの資金源には日本政府の意向が強く反映する特別基金もあり、そこからのツナミ援助も多いようである。日本の市民の監視活動が求められる。

### 3、債務の観点から

ウィリー・デコスタさん (ジュビリーサウス)

ADBの理事会での投票権のうち日本政府は約13%を握っている。それ以外にも特別基金を運営し、幹部職員に日本人が多いなど、日本はADBに対して大きな影響力をもっている。それで私たちは日本政府や日本の市民社会に訴えかけているのだ。

### 4、現地からの報告

インド：グルラジ・ブッチャさん (都市研究センター)

インドに対するADBのツナミ援助は約300億円。ところが返却の必要がない無償資金(グラント)は6,000万円ほどで残りはすべて融資貸付である。個別のプロジェクトを見ると緊急援助にもかかわらず何度も入札をくり返すなど無駄が多かった。被災者の意見をきちんと聞き入れたプロジェクトでもなかった。

アチェ・インドネシア：ラトゥナ・サリーさん (人権のための女性連合アチェ支部)

ADBの援助は約40億円で、その一部の約350万円で地元のエビ養殖の復興が行われた。皮肉なことに、それまで化学薬品漬けだった養殖池の水がツナミで流されてきれいになった。化学薬品を使わないエビ養殖を始めるチャンスだったし、被災者もそれを望んでいたのに、ADBの支援で再び化学物質に依存するエビ養殖が始まった。ADBの援助は地元の意見を聴かないからこのような結果になる。

スリランカ：スランジャン・コディトウワクさん (グリーンムーブメント)

金融セクター開発に対する融資が行われた。スリランカには200億円以上のツナミ援助が投下されたが、いまだに2万8,000世帯の人びとが復興できないでいる。きちんと計画・管理された援助であればこのような現状にはならないはずだ。

### 5、環境社会保護政策のあり方

ステファニー・フリードさん (環境ディフェンス)

ADBの援助では、自然環境・住民移転・先住民族に十分な配慮を払わなければいけない取り決め(保護政策)がある。ところが、途上国政府にとって資金が借りやすくなるように、ADBは現在これらの保護政策を弱めようとしている。ツナミ被害への援助の実態を見れば、緊急災害援助であろうと自然環境・住民移転・先住民族への配慮が十分になされる必要があることが分かる。

## 秋の「恒例」イベントご案内

FNA は今年もイベントに出展します。どうぞお立ち寄りください。お手伝いしてくださる方も大募集！

- 9月19日(土)～25日(金) アジアの布の“今”展(アクロス福岡) [終了しました]  
10月10日(土) 11日(日) 地球市民どんたく2009 (アクロス福岡2階ギャラリー)  
10月25日(日) ハートフルフェスタ2009 (博多パレイン)  
11月6日(金)～8日(日) アミカス市民活動支援事業展示企画 (アミカス2階ロビー)  
11月29日(日) あすばるウィーク (クローバープラザ)

詳しくはFNA事務局へお尋ねください。

### 質問：FNAってなに？

お答え：FNA (エフナ、アジア開発銀行福岡 NGO フォーラム) はアジア開発銀行 (ADB) によって行われる開発をモニタリングし、政策提言を行う NGO です。

お申し込み・お問い合わせ・ご連絡は下記へどうぞ。

〒810-0041 福岡市中央区大名 2-6-46 福岡市立青年センター5階  
福岡市 NPO・ボランティア交流センター (愛称あすみん) 気付  
連絡ボックス No.24 FNA 行

(郵便物には必ず「連絡ボックス No.24」を明記してください)

電話・ファクス：092-920-1873

(電話は留守番電話になっています。ご用件を録音してください)

Eメール [fna@minos.ocn.ne.jp](mailto:fna@minos.ocn.ne.jp)

URL <http://fna.nngo.jp/>

(<http://www.geocities.jp/fnafukuoka/>)

**\* 会員募集中！** 年会費 (1口)・正会員 5000円

学生会員 3000円・購読会員 2000円

入会を希望される方はお名前・住所・連絡先 (電話・ファクス・Eメールアドレスなど) を事務局にご連絡ください。FNA の郵便振替用紙をご利用いただくと手数料は無料です。

オープン・アカウント第24号 (発行2009年10月2日)